

経営比較分析表（令和3年度決算）

群馬県 千代田町

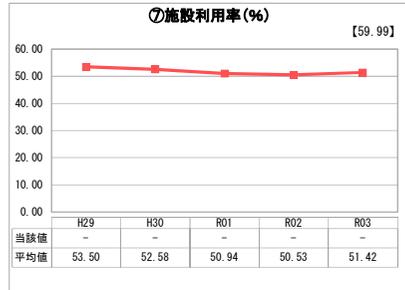
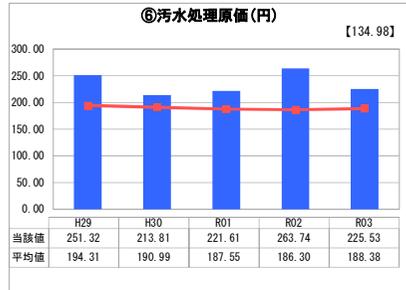
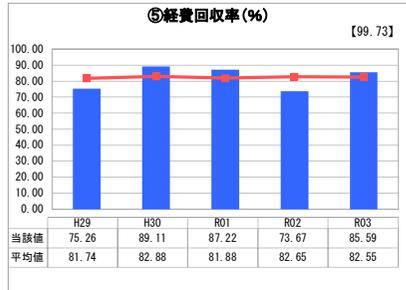
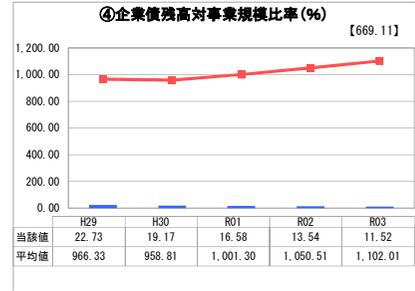
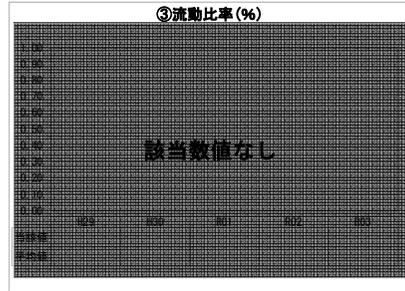
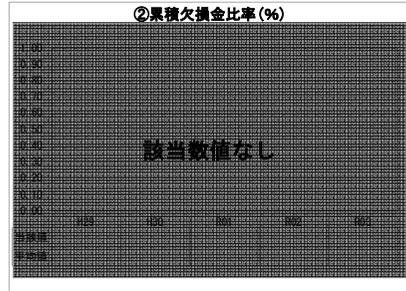
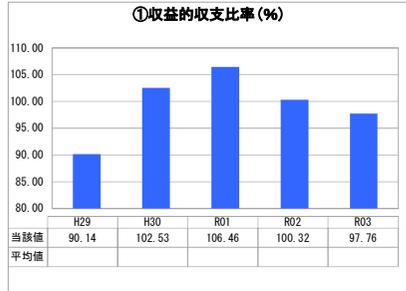
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	公共下水道	Cc2	非設置
資金不足比率 (%)	自己資本構成比率 (%)	普及率 (%)	有収率 (%)	1か月20m ³ 当たり家賃料金 (円)
-	該当数値なし	29.15	72.77	3,575

人口 (人)	面積 (km ²)	人口密度 (人/km ²)
11,096	21.73	510.63
処理区域内人口 (人)	処理区域面積 (km ²)	処理区域内人口密度 (人/km ²)
3,222	1.12	2,876.79

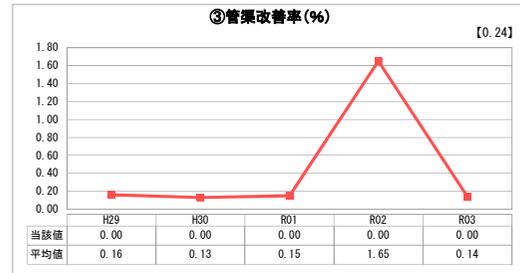
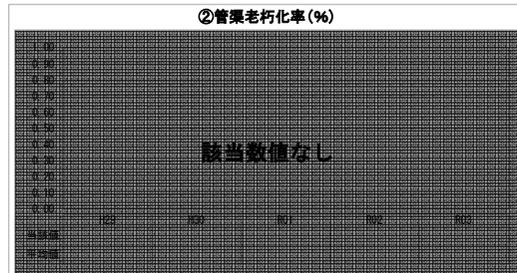
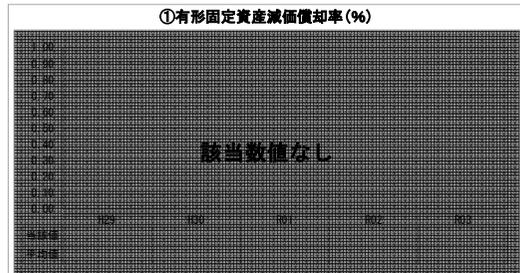
グラフ凡例

- 当該団体値 (当該値)
- 類似団体平均値 (平均値)
- 令和3年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①収益的収支比率は、接続件数の増加に伴い使用料収入も増加傾向にあるが、現在も建設事業の実施途中のため使用料収入だけでは賄えず、一般会計からの繰入れを行ってもなお100%を下回ってしまったため、引き続き収益の確保、費用の削減に努めていく。

④企業債残高対事業規模比率は、毎年度企業債元金償還金を超えないような借入れとしており、今後も事業規模に合わせた借入れに努める。

⑤経費回収率は、接続戸数の増加に伴い前年度より増加したものの、100%を下回っており、使用料収入で賄えていない状況である。今後経費の削減に努めるとともに、使用料の増収となるよう接続促進の取り組みを行っていく。

⑥汚水処理原価は、前年度と比較して低くなっているが、類似団体平均値を上回っている。さらに汚水処理原価が低下するよう接続率の向上に取り組み、有収水量の増加を目指していく。

⑦下水道の汚水処理は、県の施設で行っているため施設利用率はない。

⑧水洗化率は、供用開始に伴う処理区域内人口が増加したため、前年度よりわずかに減少している。今後も供用開始区域内の未接続者への接続促進を行い、水洗化率の向上に努めていく。

2. 老朽化の状況について

平成5年度より下水道事業に着手し、平成12年度から供用開始しており、現段階で老朽化は進んでいないものと考えられるが、事業着手から29年が経過しており、計画的に点検・調査を行っている。今後の管渠の老朽化に備えるため、更新・維持管理へ向けた対策を進めていきたい。

全体総括

経営の健全性・効率性について、使用料収入等が十分でなく、一般会計からの基準外繰入に頼らざるを得ない状況にある。また、人口減少などによる使用料収入に対しても懸念されるなか、管渠築造に係る建設事業において大きな事業費を投じるため、今後も接続促進により水洗化率の向上・使用料等の財源確保に努め、安定的な下水道経営ができるよう取り組んでいきたい。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。